小川町デマンドタクシー　実証実験運行におけるデータ収集方法

実証実験運行の結果を基に、小川町の実態に合った運行形態の再検討を行うため、以下のようなデータ収集を行います。

		再検討すること	収集するデータ
1	対象範囲	どこまで対象とするか？（地域、年齢、利用目的）	・利用実態（居住地・年齢） ・登録者の状況（年齢・居住地） ・収支 ・利用者意向（本格運行時の利用意志について） ・運行事業者意向（実際の運行を踏まえた乗務員・オペレーターの許容範囲について） ・路線バスへの影響（利用者数の変化）
2	運行形式	指定目的地間の移動を許容するか？	・利用実態（乗車地・降車地） ・路線バスへの影響（利用者数の変化）
3	運行ダイヤ	固定ダイヤにする必要があるか？	・収支 ・利用実態（乗車時刻）
4	運行時間帯	延長・短縮が必要か？	・利用実態（時間帯） ・登録者の状況（年齢・居住地） ・収支 ・利用者意向（運行及び予約時間について） ・運行事業者意向（実際の運行を踏まえた乗務員・オペレーターの許容範囲について） ・指定目的地の事業者意向
5	利用方法		
6	運行事業者	―	―
7	車　両		
8	発着地	指定目的地の増減が必要か？	・利用実態（乗車地・降車地） ・収支 ・利用者意向（乗車地・降車地の種類について） ・運行事業者意向（指定目的地以外での乗降が運用上行われていたか、箇所数が多いことによる混乱があったか） ・路線バスへの影響（利用者数の変化） ・指定目的地の事業者意向
9	運行曜日	拡大・縮小が必要か？	・利用実態（利用頻度、曜日） ・収支 ・利用者意向（休日運行の希望について） ・運行事業者意向（実際の運行を踏まえた乗務員・オペレーターの許容範囲について）
10	運　賃	段階分け、割引制度の有無、値下げ・値上げが必要か？	・収支 ・利用実態（手帳提示の有無） ・利用者意向（運賃に対する満足度について） ・運行事業者意向（段階分けによる運用上の混乱があったか）
11	周知の方法	効果的な周知方法	・利用者意向（実証実験運行を知ったきっかけについて）
			・未登録者の意向（登録しなかった理由）

⇒

データの収集方法

①登録者の状況　⇒「利用者登録データ」により把握
- 年齢
- 居住地

②利用実態　⇒「利用実績報告書」により把握
- 年齢
- 居住地
- 乗車地・降車地
- 時間帯
- 利用頻度、曜日
- 手帳提示の有無

③収支　⇒「利用実績報告書」により把握

④利用者意向　⇒「利用登録者アンケート※資料３参照」「利用者意見交換会」により把握
- 本格運行時の利用意志
- 乗車地・降車地の種類について
- 運賃に対する満足度について
- 運行及び予約時間について
- 休日運行の希望について
- 実証実験運行を知ったきっかけ

⑤運行事業者意向　⇒「乗務員アンケート」「ヒアリング」により把握
- 実際の運行を踏まえた乗務員・オペレーターの許容範囲について
- 指定目的地以外での乗降が運用上行われていたか
- 乗降ポイントの箇所数が多いことによる混乱があったか
- 利用料金段階分けによる運用上の混乱があったか

⑥路線バスへの影響　⇒「路線バス利用者数データ」「ヒアリング」により把握
- 利用者数の変化

⑦指定目的地の事業者意向　⇒「指定目的地事業者アンケート」により把握
- 予約方法について
- 待合場所について
- 等

⑧未登録者意向　⇒「区長ヒアリング等」により把握
- 登録しなかった理由

（データ収集時期）

	１月	２月	３月	４月～
◆ 利用者登録データ	毎　日			
◆ 利用実績報告書	毎　日			
◆ 路線バス利用者数データ	毎　日			
◆ 利用登録者アンケート			●上旬	
◆ 利用者意見交換会				●
◆ 乗務員アンケートヒアリング				●
◆ 路線バス事業者ヒアリング				●
◆ 指定目的地事業者アンケート				●
◆ 区長ヒアリング等（未登録者意向把握）			●	